

エイトが著効した 子宮内膜症に伴う慢性骨盤痛の一例



医療法人財団 小畑会
浜田病院
院長 合阪幸三 先生



はじめに：

子宮内膜症は最近増加しつつある疾患で、月経困難症のみならず慢性骨盤痛を引き起こし、女性のQOLに好ましくない影響を及ぼすことが知られている。薬物療法としてホルモン療法やNSAID投与が行われるが、それによっても骨盤内の不快感や慢性骨盤痛の改善がみられない症例も存在する。

一方、エイト（型式：AT-04、以降はAT-04と表記）は、人体に無害な2kHz及び83.3MHzの微弱な交番磁界をランダムに発生させ、それにより痛みを軽減する装置で、線維筋痛症、腰痛症などに対しての有用性が報告されている。そこで子宮内膜症にともなう慢性骨盤痛患者に対するAT-04の効果を検討した。

症例：

39歳の女性で、子宮内膜症に伴う慢性骨盤痛に悩んでいた。いつも痛いわけではないが、下腹部の慢性的な痛み、不快感はホルモン療法やNSAIDなどの薬物療法でも改善しなかった。そこで薬物を使用しながらAT-04の併用をお勧めした。機器を貸し出して、患者自身で痛みを感じる部分にAT-04のパッドを当て、1日2回、1回20分使用してもらった。痛みの評価はNRS（Numerical Rating Scale, 0：痛みが全くない～10：最悪な痛み、図1）で評価した。

図1. 痛みの評価。NRS（Numerical Rating Scale）を用いた。

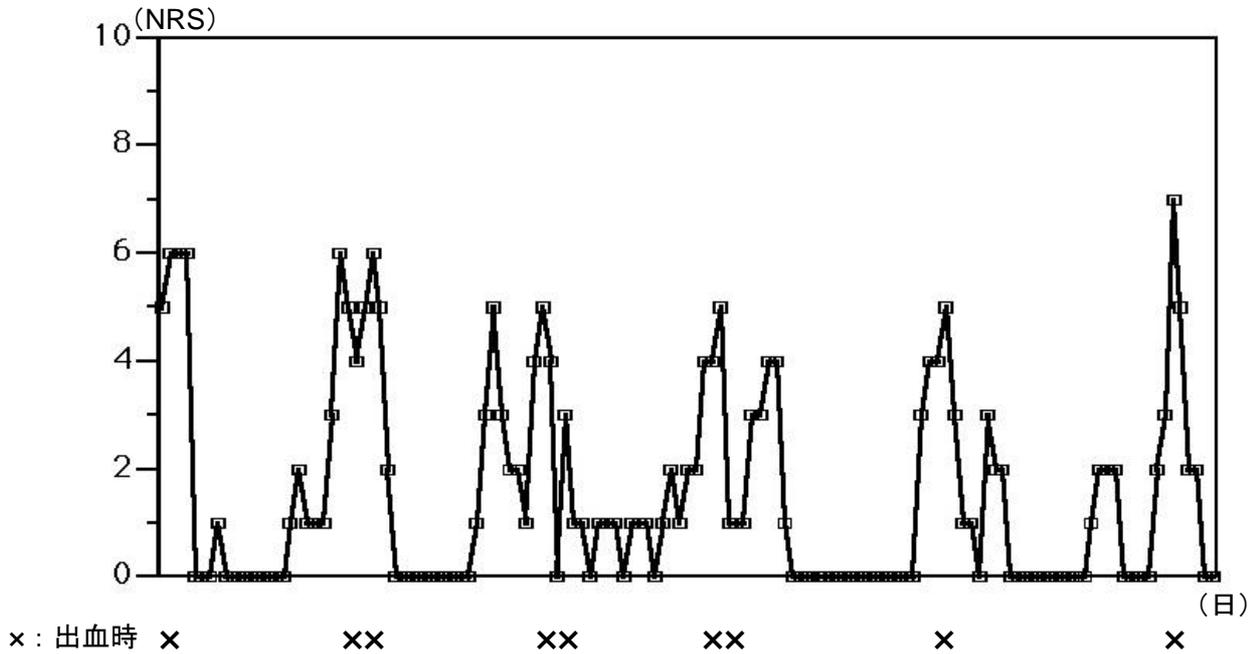


成績：

症例のNRS値の経日的変化を図2に示す。

AT-04の治療により、全体的に徐々に低下する傾向を示していた。

図2. NRS値の経時的変化(全期間)

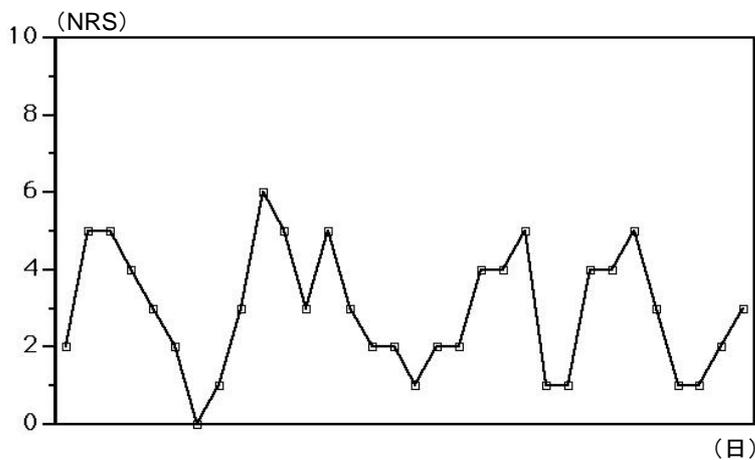


痛みは常にあるのではなく、強いときと弱いときがあるのが判る。一般に出血のある時期の方が痛みは強い。

そこで出血時と非出血時に分けてNRS値の変化をみたところ、出血時よりは非出血時の方が低下する傾向は顕著であると考えられた(図3, 4)。

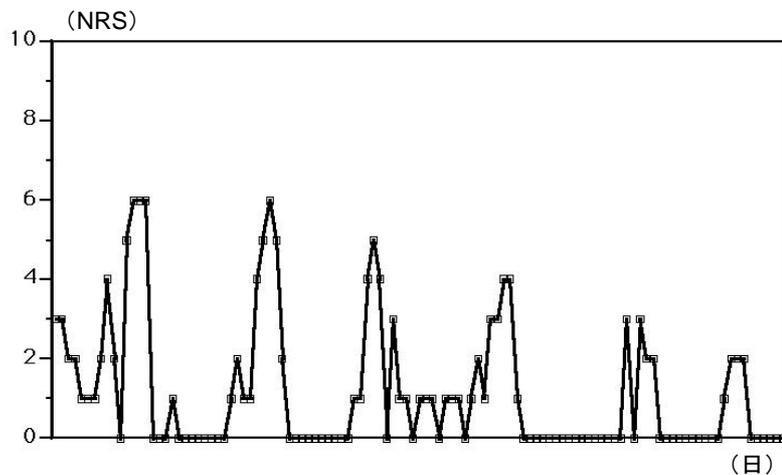
すなわち子宮内膜症による痛みが強い時期(出血時)はAT-04は奏功しないが、ある程度痛みが軽減している時期(非出血時)では痛みの緩和効果がみられるものと考えられた。AT-04使用中の重篤な副作用は認められなかった。

図3. NRS値の経時的変化(出血時のみ)



出血時の痛みについては、AT-04の効果ははっきりしない。

図4. NRS値の経時的変化(非出血時のみ)



AT-04使用により、痛みのピークが徐々に低下している。

まとめ：

子宮内膜症は慢性的な疾患で、近年増加しつつあることはよく知られている。骨盤内癒着などを伴い不妊の原因となるのみならず、月経痛、腰痛、慢性骨盤痛などにより患者のQOLに好ましくない影響を及ぼす。各種ホルモン療法が有用であるが、それにもかかわらず痛みを訴える症例に対してはNSAIDなどの痛み止めが用いられる。

しかし慢性的な痛みについては薬剤のみでは症状の改善が困難な症例も少なからず認められる。今回使用したAT-04は、腰痛症や線維筋痛症などに既に使用されており、痛みの軽減に有用であるとする報告がみられる。

そこで子宮内膜症に伴う慢性的な痛みに対してAT-04を使用し、その効果を検討した。慢性的な痛みは症例による訴え方がまちまちで、しかも常に痛みを感じているわけではなく、その日の体調による変化も考慮しなければならないので、理学療法による劇的な改善効果を得ることは難しいかもしれない。しかしながらAT-04により少しでも症状の改善が認められれば、慢性骨盤痛に悩む子宮内膜症患者のQOL向上に有用ではないかと考え、今回試験的に使用してみた。

その結果、子宮内膜症に伴う慢性的な痛みが、とくに非出血時で改善する傾向が認められた。

ホルモン療法などによっても改善しない子宮内膜症に伴う慢性骨盤痛の症例には、AT-04による治療も一考の余地があるのではと考えられた。

薬事情報

販売名：エイト

承認番号：30400BZX00015000

一般的名称：交番磁界治療器

医療機器クラス分類：クラスII

(管理医療機器 特定保守管理医療機器)



株式会社P・マインド

〒861-5525

熊本県熊本市北区徳王2-8-6

TEL 050-3160-8350

MAIL contact@p-mind.co.jp